

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	上尾市立大谷保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	熊坂 恵子	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒 362-0043 埼玉県上尾市西宮下4-380-3	TEL	048-775-2550

③評価実施期間

令和 3年 7月 12日(契約日)～令和 4年 3月 28日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

- ・地域の住民の支えによって子どもの心身の成長を育む活動を行っています

子どもの心身の成長を促進させるために自然を活用した保育内容を提供しています。また、地域の住民から、毎年メダカや芋ほりの畑の提供などの協力を受けて、子どもに必要な情操教育が行われています。例えば、メダカの飼育は、各年齢に応じた飼育への参加や、魚の生態や自然の観察、動物と共に生きることを学ぶことができます。これは、子どもの飼育活動を通じた体験学習となっています。また、芋ほりでは、0歳児から畑に入って芋の成長を観察し、芋を手にする体験ができています。地域の住民の支援によって、家庭では得られにくい自然の営みと、体験での情操教育を提供しています。

- ・身体の機能を活性化させる保育の実践を通じて、子どもの心身の成長発達を促しています

保育所は、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の保育所指針における5つの領域に留意し、保育を実践しています。特に、薄着での生活や、リズム運動、散歩などにより、子どもの心身の総合的な発達を促しています。加えて、保育所では「はだし保育」での生活が営まれています。はだし保育は室内にとどまらず、所庭にもはだしで出て、土や草の感触を全身に感じられるよう、保育活動を行っています。また、所庭には築山があり、土の感触を四肢で体感しています。この生活体験によって、子どもの嬉々とした声や全身を動かして活動している様子から、年齢に沿った成長発達を促進していることが伺えます。また、子どもの心身の成長に向けて、心のゆとりと積極的な生きる姿を身に着けるようにしています。なお、子どもが自然を相手にし、成長を促進していることに対して、今回の調査時の保護者アンケートから肯定的な意見がありました。

- ・職員間のチームワークを活かして、安心安全な保育サービスを提供しています

保育所では働きやすい職場づくりを通じて、チームワークの向上に取り組んでいます。具体的には、所長を中心に保育所運営の課題やクラス・子どもの様子を職員会議で発信・共有しています。また、人事評価や自己評価の面談を活用し、職員の状態の把握や成長の促進を図っています。こうした取り組みにより、職員間のコミュニケーションが活性化し、全園で子どもを見る、安全安心な保育が実践されています。また、今回の調査時に実施した職員アンケートの結果においても、普段からコミュニケーションや情報共有を重視しているとの意見が多くありました。なお、今回の保護者アンケートにおいても、自由意見に「担任以外の先生も子どもの名前をと親の顔を認識している」などの回答がありました。この結果から、保護者から見ても職員間で情報共有やコミュニケーションがなされ、安心して子どもを預けている様子が確認されました。

◇特にコメントを要する点

- ・保育の取り組み姿勢や保育運営について、保護者の理解が高まる情報発信の工夫が期待されます

子どもの成長や保育所の保育内容と運営に関して、保護者から一定の理解を得られています。一方で、今回の第三者評価における保護者アンケートから、保育所の施設整備やはだし保育への懸念、コロナ禍の情報発信の仕方などへの意見が一部にありました。例えば、はだし保育について、子どもの皮膚感覚と情緒の成長における段階的な変化を狙いとしています。しかし、こうした子どもの変化を大切にされた保育の展開への理解が進んでいないようです。加えて、子どもの体調による靴の着用についても、理解が進んでいないと取れる意見が一部寄せられていました。また、保育所での丁寧な支援内容が保護者に伝わっていない様子が、アンケート結果にありました。なお、保育所での取り組みは適宜文書や口頭において保育所から保護者に周知されています。しかし、前述のアンケートの結果のとおり、一部の保護者への理解が進んでおらず、情報発信の仕方に改善の余地があります。この調査を機に、保護者や家庭の状態に見合った情報発信の仕方を検討するなど、創意工夫が期待されます。

- ・保育所が描く職員のキャリアパスの明示が待たれます

保育所では、市が定める子育て支援計画に沿って保育の全体計画や行事計画そして、職員の研修計画などを立案しています。また人事評価における仕組みとして年4回の面談を設定おり、職員の目標到達の度合いの確認や意欲向上に向けた励ましなども行っています。育成の為に研修メニューや部会組織による研究等もより良くなるよう見直しを繰り返しています。市として職員に求める職務遂行能力を定めて水準も定めています。しかしこれらの取り組みのゴール指針ともいえる職員のキャリアパスが示されていませんでした。キャリアパスの策定と種々の取り組みの連動が待たれます。

- ・保育や行事実施後に行っている振り返りと次回の計画との連動が望まれます

保育所では、市が定める市政の運営指針や子育て支援事業計画を踏まえた、当保育所の事業計画を策定しています。職員への周知にも努め保育所運営を一体となり行っています。定期的に進捗状況を会議で確認し、振り返りも行っています。所内での確認だけでなく、所外に対しては行事後にアンケートを取るなどして意見を集計し、今後の課題も抽出しています。しかし、これらの所内外で集められた課題が認識するにとどまっていることが散見されました。今回の評価時の保護者アンケートの一部にも意見が反映されていないと取れる意見が寄せられていました。緊急性や重要性のあるものは即座に対応していますが、次の計画に反映されている事柄を確認することが出来ませんでした。取り組み後の会議やアンケート等を実施し課題を抽出していることは今回の調査時にも確認出来ています。それを次回の計画に加えたり、これまでの計画を見直したりすることが望まれます。市の方針や市内公立保育所との整合性ではなく、個別課題に応じた計画へと反映させていくことが待たれます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

日々、子どもの心身の成長発達を考えながら、職員間のチームワークを活かして保育実践に取り組み、子どもたちがのびのびと過ごしています。

実際に配慮して行っていることが伝わりきれていない部分もあり、保育の発信方法の工夫をしていきたいと思えます。

今回の結果を踏まえて、利用される方々が安心して預けていただける保育所となるよう、気づいた点を改善しながら取り組んでいきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり